

宮城県でこれまでに起きた気象災害には、どのようなものがあるのでしょうか。



2002 (平成 14) 年 7 月 11 日
台風第 6 号の接近と梅雨前線による豪雨で河川が増水し堤防が崩れた。(栗原市若柳町)



2007 (平成 19) 年 7 月 15 日
台風第 4 号による大雨で地すべりが発生。市道が崩落した。(白石市小原字久保)



2014 (平成 26) 年 2 月 15 日
低気圧の接近により、広い範囲で大雪となった。大雪で孤立した地域では人命救助が行われた。(丸森町大張)



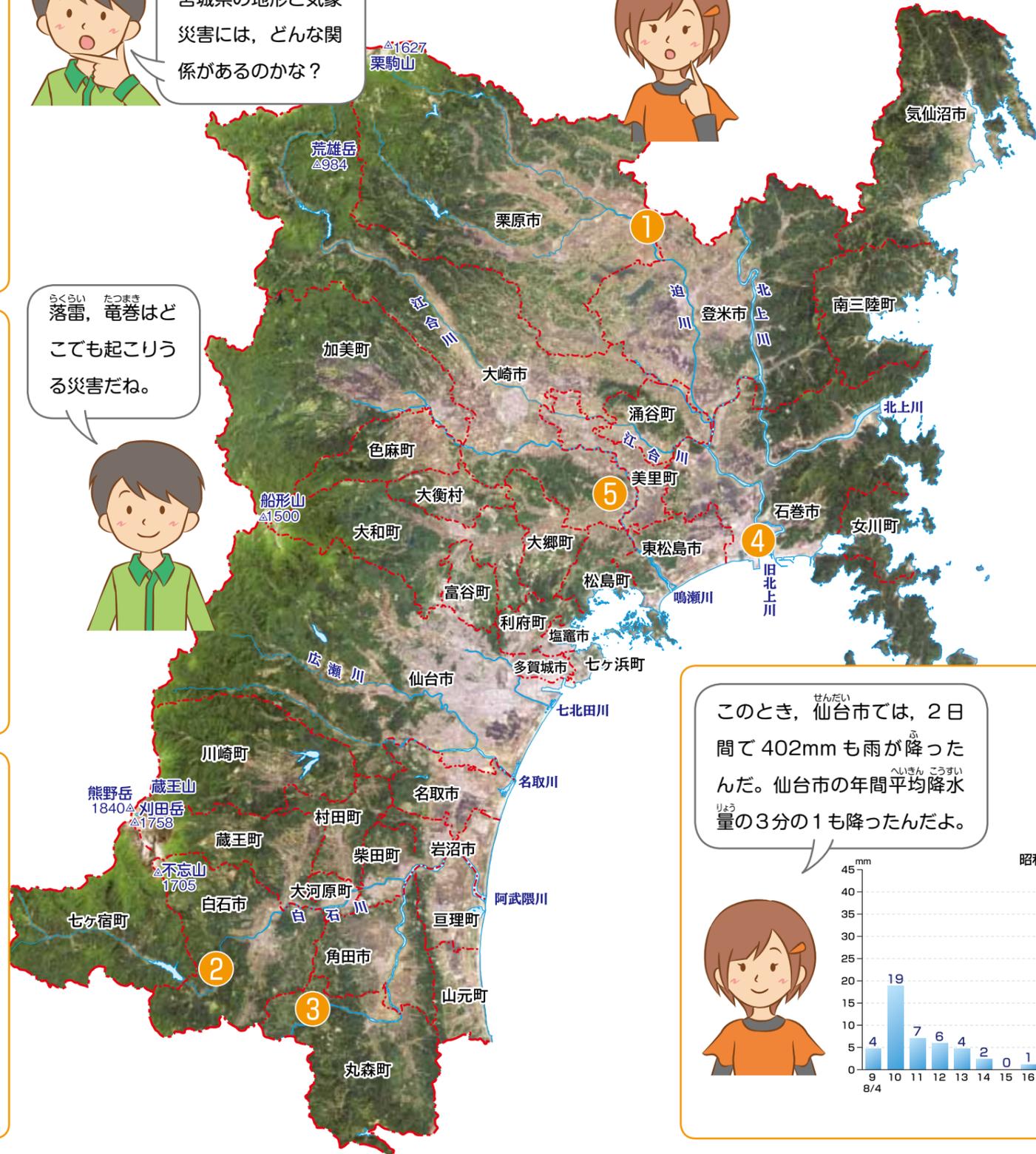
宮城県の地形と気象災害には、どんな関係があるのかな？



気象災害は、いつごろの時期に起っているのかな？



落雷、竜巻はどこでも起こりうる災害だね。



調べてみよう

宮城県では、大雨や台風などによる土砂災害が発生するおそれのある場所(土砂災害危険箇所)は、現在(平成 26 年 11 月) 8,482 か所あります。自分が住む地域で危ない場所があるか調べてみましょう。

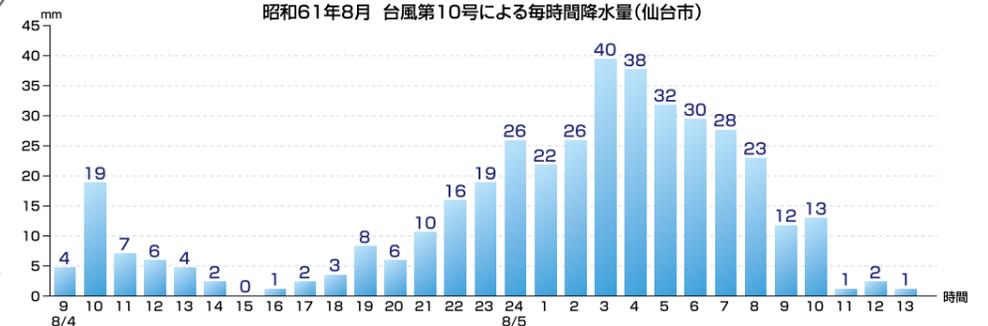


2013 (平成 25) 年 9 月 16 日
台風第 18 号による竜巻で仏壇仏具店が倉庫として利用していた旧店舗 2 階部分が国道へ落下した。(石巻市築山)



1986 (昭和 61) 年 8 月 5 日
台風第 10 号による大雨で冠水した道路。家財をかついだり、ボートに乗ったりして避難した。(大崎市長島台木間塚姥ヶ沢)

このとき、仙台市では、2 日間で 402mm も雨が降ったんだ。仙台市の年間平均降水量の 3 分の 1 も降ったんだよ。



昭和 61 年 8 月 台風第 10 号による毎時間降水量(仙台市)

参考：'86 台風 10 号に伴う大雨洪水災害の概況(宮城県土木部)